

## 施設建設協議会への提案(その2)(平成28年2月13日)への回答

No.	提案の要旨 ＜ ＞内は、実施計画書の対象ページ、図	回 答
7.1	今回の施設では、上屋の高さを低くするためにプラザ施設放棄せざるを得ないと思います。 ＜ P 4 2 ＞	プラザ機能のうち、見学者への説明や各種講座・教室等多目的に活用できる研修室・展示室及び自由スペースは必要な機能として設置します。そのうえで、上屋の高さを可能な範囲で低くすることを提案図書作成条件書（以下「見積仕様書」という。）に記載し、これを条件として、プラントメーカーへ提案を依頼します。なお、見積仕様書は、3月末に取りまとめる予定です。
7.2	地域住民への対応(環境保全策) 万全の臭気/VOC放出防止策 搬入/搬出車両のルート設定 ＜ P 3 9 ＞	臭気及びVOC対策として、メーカー提案に基づき、技術的に確立された最も効果の高いと考えられる技術を設定し、採用します。 搬入搬出ルートについては北側からの通行に集中することのないようルートを分散する計画です。
	従業員の健康維持管理(極めて重要) 休憩室の完備 風呂の設置＜ P 5 0 図 4 - 7 ＞	作業員休憩室を設置します。 風呂の代替設備として、作業員用シャワールームを設置することを見積仕様書に記載します。
8.1	設備(臭気/VOC 排出関連)の二重化 (事故及びメンテ時の即設備入れ替え可能) ＜ P 3 9 ＞	脱臭設備（VOC除去を含む）が故障した場合は、操業を停止します。また、活性炭の取り替えや光触媒の洗浄などのメンテナンスは、操業時には行いません。以上から脱臭設備は1系列とします。
8.2	上屋高さの低層化検討(必須検討事項) クレーンの高さを低くする為に、ホッパ位置を3階から2階に移動し、2階から3階へはエスカレータを新規に設置し、ゴミを移動させる。この為2階に計画している、プラザ施設、会議室はこの設備を導入した後、設置可能ならその範囲で設置する。＜ P 4 8 ＞	ホッパ位置を3階から2階にするためには、3階及び2階のスペースを縮小する必要があります。現状で3階は手選別スペースとなっており、このスペースを縮小することは、処理能力への影響も考慮する必要があります。このため、必要な機能を確保したうえで、可能な範囲で上屋高さを低く抑えることを見積仕様書に記載します。
8.3	排気ガス/防音対策 森永住宅、さくら園側に排気ガス/防音対策の為に遮蔽壁の設置が必要と思われます。 ＜ P 4 7 図 4 - 1 ＞	排ガス及び防音対策ではありませんが、東側から収集車の走行や搬入扉の開閉が見えないように、遮蔽壁を設置することを見積仕様書に記載します。
8.4	車両重量測定計測機の2重化(必須事項) IN 及び OUT の測定はゴミ量を正確に測定する為には必須の内容です。OUT はプラット	施設を円滑に操業するためには、車両の敷地内での滞留（待ち時間）を極力少なくすることが必要です。計量は空車重量をあらかじめ登録

	ホーム内に設置可能と考えます。 ＜P 47 図4-1＞	しておくことにより、1回の計量で資源重量を量ることができます。また、運用の中で、空車重量を登録していない車両などは、場内を周回することで2回計量（二重化）が可能です。 以上から、車両重量測定計測機（計量機）は1基とします。
8.5	搬入／搬出プラットホームの低圧化 近辺環境への臭気離散防止(健康被害の配慮) ＜P 39＞	施設の作業時間においては、ピット（資源を貯留する場所）内空気を常に吸引し、室内の低圧化を図り、臭気の漏洩を防止します。
8.6	光触媒の洗浄スペース VOC 排出の低減 ＜P 50 図4-6＞	光触媒の洗浄スペースは、同一フロア内に確保することを見積仕様書に記載します。
8.7	排気口の方向 過密住宅地への配慮(健康被害の防止) ＜P 50 図4-6＞	排気口の位置は建屋中央部とし、排気の方法は、実施設計段階で施設整備地域連絡協議会のご意見を踏まえ決定します。なお、実施設計は、平成29年2月から平成29年9月の間で実施する予定です。
8.8	搬入／搬出車両に対しての施設内及び近辺道路の信号施設交通事故防止の為。 ＜P 47 図4-1＞	敷地内には、計量機に計量の可否を示す信号機を、資源投入扉に投入の可否を示す信号機を設置する予定です。 周辺道路に信号機が必要な場合は、関係機関に設置を要望していきます。
8.9	車両ルートの設定 近辺には大型商業施設があり、これを避けるルートを明確化する必要があると思います。それぞれ各市からのルートを設定する必要があります。 (1) 小平市からのルート (2) 武蔵村山市からのルート (3) 東大和市の各ポジションからのルート ＜P 39＞	搬入搬出ルートについては北側からの通行に集中することのないよう市毎に分散する計画です。 一つの例ですが、小平市は、オーベルグランドイオ東大和北西の桜街道信号から南下し、中小企業大学の南を西方向に進み、突き当りを北上して進入するルートを、武蔵村山市は、東大和市民プール北東の桜街道信号から南下し、突き当りを右折して進入するルートを、東大和市は、大型商業施設北東の信号を南下するルートを通ることが考えられます。
8.10	出入り口のドアの2重化(臭気防止) 寝屋川施設の視察によりドアはハードの扉と、エアーカーテン及びピットに高速シートシャッターで対応可能と考えます。無論プラットホームの低圧化は必須です。 ＜P 49 図4-5＞	プラットホーム出入口には搬入・搬出扉を、プラットホームとピット間には資源投入扉をそれぞれ設置します。また、プラットホーム出入口にはエアーカーテンを設置することを見積仕様書に記載します。
8.11	搬入プラットホーム底部のすり鉢化(又はテーパの構造) 廃棄物をプラットホーム内に残さない為の施設／設備の検討(再検討?)が必須と思われます。＜P 49 図4-5＞	資源を貯留するピットの底部及びプラットホームはテーパ(傾斜をつける)構造とし、プラットホーム及びピットに資源や汚水が滞留しにくい構造とすることを見積仕様書に記載します。
8.12	従業員の十分な安全／健康管理確保 3K環境で労働する従業員の皆様には臭気／VOCに晒させる観点から、	・作業現場は、十分な換気が行えるようにします。 ・設置する設備機器は、安全や良好な作業環境

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業現場の十分は排気設備</li> <li>・安全な機械設備／作業環境</li> <li>・十分な休息設備</li> <li>・風呂の完備(臭気を抜いて帰宅する)</li> </ul> <p>&lt; P 5 0 図 4 - 6 &gt;</p>	<p>の確保に配慮したものとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休憩設備は、作業員控室及び作業員更衣室内に設けます。</li> <li>・風呂については、代替設備としてシャワー設備の設置を見積仕様書に記載します。</li> </ul>
8.13	<p>活性炭交換／光触媒の洗浄</p> <p>定期的な交換／洗浄の規定を作成し、実施する義務を負う。</p> <p>その実施報告を公表する。</p> <p>光触媒の洗浄場所の確保(八王子工場見学で判りました)&lt; P 5 0 図 4 - 6 &gt;</p>	<p>活性炭の交換や光触媒の洗浄については、設備性能が劣化しないように適切な期間に行うこととします。また、その内容は、他の操業状況の記録と併せて報告します。</p> <p>なお、光触媒の洗浄スペースは、同一フロア内に確保することを見積仕様書に記載します。</p>
8.14	<p>近隣環境の定期的な測定</p> <p>定期的に近隣環境調査を実施する。</p> <p>その結果を公表する。&lt; P 4 0 &gt;</p>	<p>総揮発性有機化合物（T-VOC）の定期的な測定は、敷地境界及び排気口において行い、結果は公表します。</p>
8.15	<p>市民参加型チェック体制の確保</p> <p>近隣住民／専門家を中心とした市民参加型の施設管理委員会を設立し、定期的な施設の運転状況報告及び上記 8.10 項及び 8.11 項の実施の際には市民を参加させる。</p>	<p>施設の建設工事及び操業に関する市民参加型チェック組織として、現在の施設整備地域連絡協議会を母体とした組織の設置を検討します。なお、住民参加型チェック組織のあり方については、施設整備地域連絡協議会との協議により定めたいと考えています。</p>
8.16	<p>設備の運用</p> <p>不要の運用経費削減によるコスト削減を図る為、設備の運用には第三者委託が必須となります。業者選択基準の策定も必要と思われます。&lt; P 5 6 &gt;</p>	<p>施設運營業者の選定は、厳正に行います。</p>
8.17	<p>使用車両の洗浄（車両から発生する臭気及び粉塵対策）</p> <p>委託業者の車両が常に清潔な状態を保てる様、定期的な洗浄を義務付ける事を考慮して戴きたい。</p>	<p>収集車両については、常に清潔な状態を保つように、収集運搬業者に要請します。</p>
8.18	<p>設備の建設コストの考え方</p> <p>上記の内容を含め建設をする場合、建設コストの再計算が必要となります。設備建設にはコストも重要な要素ですが、今回の場合「住宅密集地に建設する」が前提ですので、「コスト優先での設備ありきの建設」であってはならない事です。更に建設資材の高騰の側面もありますが、建設コストについては3市行政側及び3市市民の覚悟も必要な事と思います。</p>	<p>環境対策は、施設整備の前提であり、「コスト優先での設備ありきの建設」とする考えはありません。</p>